

このコーナーは、上越市の犯罪の傾向や分析結果のほか、市民の皆さんに特に注意していただきたい内容等をお知らせします。

大町小学校6年生が地域安全マップを作製

- 7月6日、大町小学校6年生52人が地域のボランティアなどと力を合わせて、地域安全マップを作製しました。

大町小学校では、6年生が毎年この時期に地域安全マップ作りに取り組んでいます。

事前学習



- 多目的ホールに6年生と地域ボランティアが集まり、防災危機管理課職員による事前講習が行われ、
危険な場所＝入りやすい場所&見えにくい場所
について学習しました。

フィールドワーク

- 地域ごとに分かれてフィールドワークに出発。

みんなで協力しながら危険な場所のチェックや写真撮影を行いました。



マップ製作



■ 大きな地図にチェックしてきた危険な場所の写真や危険な理由をコメントにして貼り付けます。

わかりやすく、下級生にもうまく伝わるように工夫しています。

発表会

■ 上越市防犯の日の7月12日にあわせ、地域子供会のおきに製作した地域安全マップを掲げ、6年生が下級生に地域の危険な場所について説明する発表会が開かれ、みんなで気を付けることを約束しました。



地域安全マップづくりのメリット

- 子どもたち自身がマップ作製にたずさわること、危険な場所を自分で見分ける能力が育ちます。
- 友達同士話し合いながら作業を進めることで、コミュニケーション能力が向上します。
- 子どもたちが地域を見て回り、様々なことを発見することで、地域への愛着心が芽生えます。
- 子どもの視点から危険と感じる場所を地域の大人が知ること、地域ぐるみの防犯対策強化につながります。